

5.4 目標4 自転車を活用した観光・賑わいづくり

施策16. サイクルツーリズムの推進

自転車を活用した観光振興である「サイクルツーリズム」を推進するため、「福岡県サイクルツーリズム推進協議会」と連携し、広域モデルルートの整備やサイクリストの受入環境の整備、情報発信に取り組みます。（本市が関連する広域モデルルートは、下図⑤⑥）

また、ロングライド向けの広域モデルルート以外にも、気軽に観光地を「ポタリング※」するルートなどを設定し、様々なスタイルでサイクリングが楽しめる環境づくりを推進します

※ 散歩をするように、気軽にゆっくりと自転車で散策することを意味する和製英語。

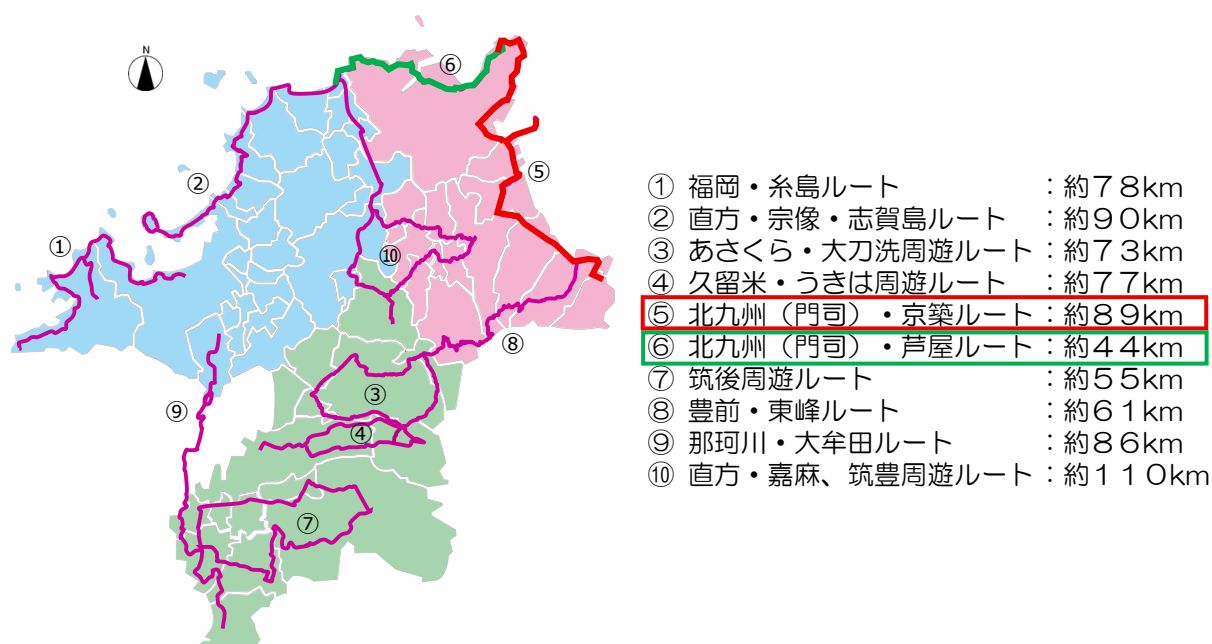


図 福岡県サイクルツーリズム広域モデルルート(10ルート)

資料：福岡県

(1) 広域モデルルートの整備

広域モデルルートのご案内表示を設置します。

＜路面標示・案内板＞



＜矢羽根型路面標示＞



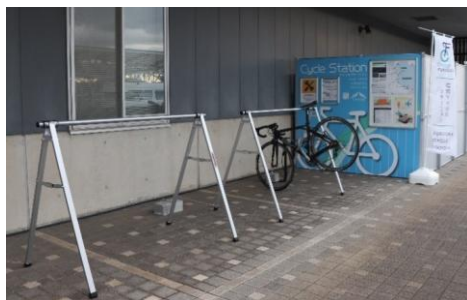
北九州（門司）・京築ルートの整備例

資料 北九州市道路維持課

(2) サイクリストの受入環境の整備

トイレが利用できる施設などに、サイクルスタンドや空気入れなどを設置することで、サイクリストが気軽に休憩できるサイクルステーションを整備します。

＜北九州空港のサイクルステーション＞



資料：北九州エアターミナル

(3) 情報発信

自転車活用を通じて、本市の魅力をより効果的に伝えるため、多様な媒体を用いて情報発信を行います。

ポータルサイト「スマートサイクルライフ北九州」などを活用し、市内の観光スポットやグルメ情報に加え、それらを自転車で巡るおすすめサイクリングルートを紹介します。

また、自転車レースなどのサイクルスポーツについても積極的に発信し、スポーツとしての自転車の魅力、競技の普及・振興に資する情報を幅広く提供します。

さらに、市内で開催されるサイクルイベントの情報をタイムリーに発信することで、市民の参加を促すとともに、イベントを通じた地域の賑わいづくりを促進します。

＜イベント（マイナビツール・ド・九州 2024

小倉城クリテリウム）＞



＜観光（JR 門司港駅）＞



資料：スマートサイクルライフ北九州 HP

＜ご当地グルメ（焼きカレー）＞



＜ご当地グルメ（すし）＞



資料：北九州パレット HP

施策17. シェアサイクル事業の推進【再掲】

市民アンケート調査によると、シェアサイクルを利用したいと答えた方の利用目的は、「買物・食事など」や「観光・レジャー」が6割を超えており、街なかでの移動や観光利用でのニーズが高いことがうかがえます。

これを踏まえ、ニーズに応じたシェアサイクルステーションの配置を検討するなど、街のにぎわいづくりや周遊観光の促進に向けた取り組みを推進します。

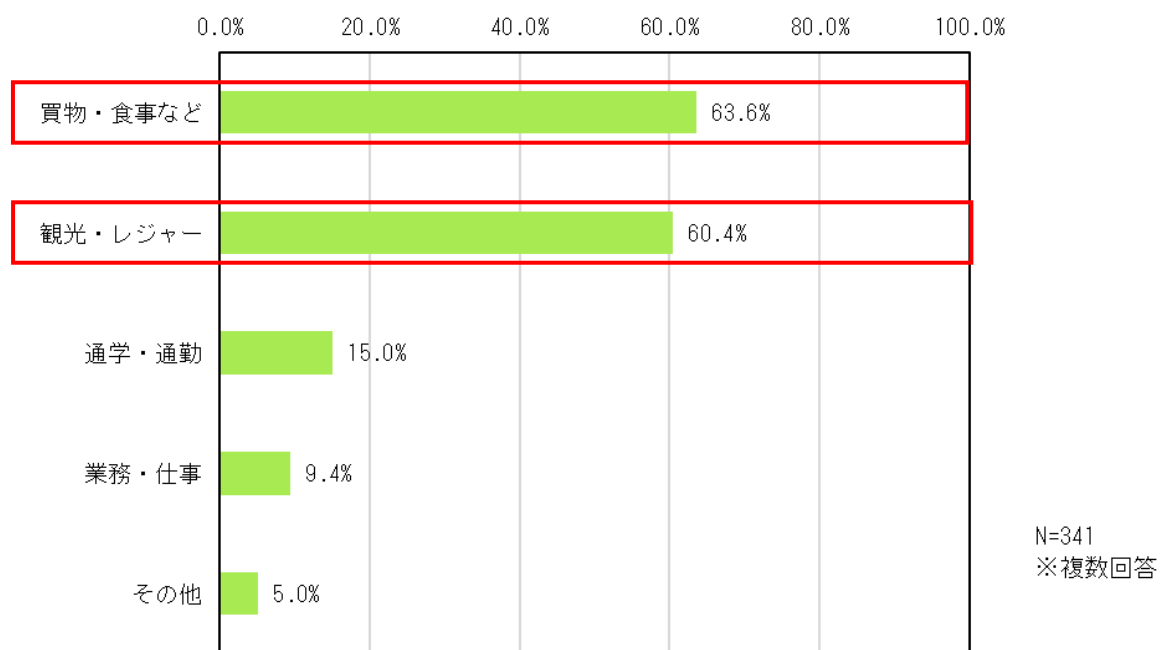


図 シェアサイクルを利用したい方の利用目的

資料：北九州市自転車利用に関する市民アンケート（R8.1）

また、本市を訪れる観光客の利便性向上と地域活性化を目的に、各エリアの特性に応じたレンタサイクルを展開しています。小倉都心部では電動アシスト自転車による回遊性向上、門司港レトロ地区では多様な車両で街並みを巡るレンタルサービスを実施しています。今後もこれらを普及・促進させることで、環境負荷の少ない観光形態の確立と地域の賑わいづくりを推進します。

< レンタサイクル（小倉都心部） >



資料：NPO 法人 I-Do

< レンタサイクル（門司港） >



資料：NPO 法人 I-Do